

## 豊かな観光資源を活用した観光の魅力づくり

### ■観光の魅力づくり推進経費

【商工費】(継続) 1,866万円  
(商工観光部 観光振興課)

観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、豊富な観光資源を活用した個性ある観光地づくりに寄与する事業を支援します。

本年度は、丹後神野温泉の温泉源改修、夕日ヶ浦温泉の温泉源補強、夕日ヶ浦温泉の配管・配湯事業や丹後温泉源保全事業などの支援を予定しています。また、網野町小浜海岸に配備される清掃ごみ搬送用クローラーの購入補助や冬期レジャー施設であるスイス村スキー場の圧雪車購入なども行います。



海水浴客でにぎわう琴引浜

## 6 京丹後ブランドの販売戦略

### 京丹後ブランドの発信に向けて

#### ■6次産業創造プロジェクト経費

【総務費】(新規) 207万円  
(企画政策部 総合戦略課)

本市の基幹産業の一つである農林水産業の6次産業化を積極的に推進し、生産者の所得、意欲の向上、雇用の創出および安定を図るため、京都吉兆の徳岡総料理長や大学教授等に専門委員として委嘱し、6次産業創造へのプラン作成や体制整備、商品の研究・企画・開発、農商工等連携の具体化など施策形成を図ります。

#### 6次産業

1次産業(生産・収穫)×2次産業(加工・製造)×3次産業(流通・販売・サービス)  
※「いずれかが欠けるとゼロ(0)になるため、いずれも欠かせない」という意味の造語



御旅市場フリーマーケット

### ■京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金

【商工費】(継続) 990万円  
(商工観光部 丹後の魅力総合振興課)

京都市内の堀川商店街に開設した特産品ショップ「ホッと丹後」(京丹後市の情報発信拠点施設)での地場産品の紹介や販売による消費動向やニーズ調査、新規販路開拓のほか、都市部のみなさんへ京丹後市の観光PRやタイムリーなイベント情報を発信することで京丹後市への誘客を図るとともに都市部との交流を促進する取り組みを支援します。



にぎわう堀川商店街内の特産品ショップ「ホッと丹後」

### ■地場産業経営革新等対策経費

【商工費】(継続) 333万円  
(商工観光部 丹後の魅力総合振興課)

地域の基幹産業とその資源の「課題」と「強み」の両面から市場とのマッチングを考えるとともに距離をより短縮する構造改善と主体的な企画・提案型事業への転換や企業経営における意識改革の促進をめざした事業です。

本年度は織物業とその経営資源についてのフォーラム、セミナー、地域内外での商談会、他産地での研修など、体系的にレベルの向上が図れるよう取り組みます。



丹後チャレンジフォーラム

## II 暮らしの中でのいのちが輝く

### 環境循環都市

### 1 自然環境の保全と創造

#### 環境保全の計画的推進のために

##### ■環境基本計画の策定

【衛生費】(継続) 983万円  
(生活環境部 環境推進課)

良好なふるさとの自然環境保全と創造に向け、地球温暖化防止対策への取り組みなどの環境に関連する施策を効果的に推進するため、市民、NPO法人、事業者、行政が一体となって環境に関する基本計画を策定します。(平成19年度～平成20年度)



大宮町内山のブナ林

#### 斎場建設に向けた基本計画の策定

##### ■斎場建設計画推進事業

【衛生費】(新規) 355万円  
(生活環境部 環境推進課)

市の3か所の火葬場は、いずれも老朽化が進んでおり、早急に斎場の整備方針を決定する必要があるため、先進地視察や斎場の建設予定地の選定などを検討する審査会を開催し、斎場建設に関する基本計画を策定します。



老朽化している網野火葬場

## 2 循環型社会の構築

### 環境保全型農業の推進

#### ■地域バイオマス活用推進事業補助金

【衛生費】(継続) 1,816万円  
(生活環境部 環境推進課)

循環型社会の実現をめざすため、バイオガス発電施設から発生するメタン発酵後の残さを農業用資材(肥料)として利用し、環境保全型農業を推進します。この資材の利用促進を図るため、農林水産省の補助制度を活用し、肥料散布機器の導入を支援します。

#### バイオマス

生物資源(バイオ)の量(マス)を表すもので、動植物に由来する有機物のことです。(原油、石油ガス、可燃性天然ガスおよび石炭並びにこれらから製造される製品を除きます。)バイオマスは、太陽エネルギーを使って、水と二酸化炭素から生物が光合成によって生成するものなので、持続的に再生可能な資源といえます。



残さを農地に肥料散布

## III 生きる喜びを共有できる

### 健やか安心都市

### 1 市民主体の健康づくりの推進

#### 市民の健康を守ります

##### ■妊婦健康診査の公費負担

【衛生費】(拡充) 1,015万円  
(保健福祉部 健康推進課)

病院などで公費で受診できる妊婦健康診査の回数を拡充します。妊婦1人あたり、これまでの2回から5回に拡充し、経済的負担を軽減することで安心して出産を迎えることができるように支援します。

